

全国中心市街地活性化 まちづくり連絡会議

第9回 勉強会 in 長浜市

平成 23 年 10 月 13 日～14 日、「全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第 9 回勉強会」が滋賀県長浜市で開催されました。今回の勉強会には 49 社 85 名(賛助会員等を含む)と多数の皆様にご参加頂きました。

《第 1 日目》

第 1 日目は、13 時 30 分から北ピワコホテルグライエ「ソプラシェーナ」にて勉強会が開催されました。

はじめに、日野会長(株)まちづくり松山)から、「長浜の皆様、国交省の皆様、経産省の皆様、そして各地からお集まり頂いた皆様に御礼申し上げます。まちづくりの先進地、長浜で勉強会を開催できて嬉しく感無量です。先の大震災で中心市街地の役割がクローズアップされました。今こそ皆様の知恵を総結集するとき」とのご挨拶を頂きました。



続いて、開催地を代表して長浜市藤井市長より、「まちづくり専門家の皆様に各地からお集まり頂き、心から歓迎します。国交省、経産省の皆様方にも厚く御礼申し上げます。連



絡会が有意義なものになるよう祈念し、また長浜は一番良いイメージだったとご評価いただけるよう楽しんで頂きたい」とのご挨拶を頂きました。

続いて、長浜商工会議所高橋会頭より、「各地のまちづくり活性化に関わる方、国関係の方々にお集まり頂き、感謝申し上げます。このように少しでも長浜を知って頂く機会を作って頂いたことに深謝いたします。また各地の皆様方の地域へ勉強に行かせて頂きたい」とのご挨拶を頂きました。



最後に、来賓として国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室渡部課長補佐より、「平素より中心市街地活性化に取り組んでおられる皆様に感謝と敬意を申し上げます。震災は大きな課題を残すと共に住民の皆様のもちづくりへの強い意志を目の当たりにする機会でもありました。本日は皆様のいろいろな意見を受け止めるサンドバックとなるつもりで参りましたので、国への不満をぶつけて頂きたい」とのご挨拶を頂きました。



現況発表

『長浜市の中心市街地活性化』と題し、長浜市の 3 つのセクションより、それぞれの取組内容について発表を頂きました。主な内容は以下の通りです。

1. 長浜市中心市街地活性化基本計画

- 長浜市商工振興課長兼中心市街地活性化推進室長 北川課長
- 長浜市の概要説明 黒壁、曳山まつり、市民が主役
- 3 つの課題
 - 賑わい (200 万人の観光客の継続) 量から質への転換 (文化性、宿泊型) 居住者視点のまちづくり
 - 駅前 身の丈再開発。

2. 長浜市の景観まちづくりと歴史的風致維持向上計画

- 長浜市都市建設部理事兼都市計画課長 伊藤理事
- 長浜市の概要説明
 - 自然(伊吹山・夕日百選)、港町・商業都市
 - 博物館都市構想 美しく暮らす (内面から外面へ)
 - 歴史的なまちなみの保存・再生
 - 景観まちづくり計画 色彩規制など。

3. 長浜市中心市街地活性化事業

- 長浜まちづくり株式会社 吉井コーディネーター
- まちづくり 3 つの流れ
 - 商店街、市、商工会議所 プラン・仕掛・事業
 - 21 市民会議 JR 直流化・ドーム球場・大学誘致 (株)黒壁
 - 活性化協議会、3 つの部会。
 - まちづくりの面的な広まり
 - 長い距離を飽きさせずに歩いてもらう。
 - 走り続ける。小さな事業の積み重ね。

国土交通省・経済産業省からの情報提供

国の中心市街地活性化施策等について、ポイントを絞って情報提供を頂きました。

1. 中心市街地の活性化関連施策&まちづくり活動の支援に関する最近の動き

国土交通省都市局まちづくり推進課
官民連携推進室 渡部課長補佐

まちづくりの担い手の実態調査を踏まえた分析

都市再生特別措置法の見直し

- ・都市再生特別措置法が改正され、都市再生整備計画が「公共公益施設の整備等のための計画」から「官民連携によるまちづくりのための計画」へ転換。
- ・都市再生整備推進法人の対象に、まちづくり会社等が追加。

- ・にぎわい・交流創出のための民間の都市利便増進協定制度が創設 等
平成 24 年度の国土交通省の予算要求内容 など

2. 近畿地方整備局の取組

国土交通省近畿地方整備局建政部
都市整備課 山本課長

近畿地方整備局建政部の役割と組織の案内

社会資本整備総合交付金の制度概要と事業イメージ

くらし・にぎわい再生事業の制度概要

まちづくり相談所（平成 23 年 7 月開設）の紹介

近畿地方整備局-まちづくり相談所

窓口：建政部

TEL 06-6942-1098 FAX06-6942-3912

3. 平成 24 年度中心市街地活性化関連予算概算要求の概要

経済産業省商務流通グループ

中心市街地活性化室 竹本室長補佐

戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金

中心市街地商業活性化支援業務等委託費事業費

（人材育成事業等）

経済産業省：街元気 まちづくり情報サイト



<http://www.machigenki.jp>



4. 近畿における中心市街地活性化の

取り組みについて

経済産業省 近畿地方整備局

流通・サービス産業課 川田課長補佐

中心市街地活性化施策の実施状況

戦略補助金を活用する商業施設等の整備

特定民間中心市街地活性化事業計画の認定

「近畿中心市街地活性化ネットワーク研究会」の
取り組みについて

中小企業基盤整備機構近畿支部における支援状況

平成 23 年度戦略補助金活用予定事例

やわた夢生小路商店街活性化事業（長浜市）



交流会

北ピワコホテルグランツィエ ソプラシェーナ（北側）において、日野会長による御挨拶及び国土交通省渡部課長補佐による乾杯から交流会は始まりました。（株）黒壁及び長浜まちづくり（株）の御配慮により、長浜名物「焼き鯖そうめん」をはじめ、滋賀県産の美味しい食事と飲み物を楽しむことが出来る盛大な交流会となりました。



また、国土交通省渡部課長補佐の御発案により、参加者各人が、仕事上で感じている事などを自由に述べる時間

が設けられました。

最後は、（株）黒壁高橋潤取締役執行役員より、締めで閉会となりました。



《第2日目》

現地視察

第2日目は、総勢約67名で長浜市の中心市街地の現地視察を実施しました。



朝9時30分より曳山博物館伝承スタジオで30分ほどの概要説明の後、(株)黒壁、長浜まちづくり(株)、長浜市役所の職員の案内により、曳山博物館伝承スタジオ 神前西開発 季の雲ゲストハウス 三谷旅館 まちの駅 青い鳥 黒壁新回廊 能舞館 黒壁美術館 今濱屋 武羅坊 黒壁本館といった工程を視察しました。



遊楽布回廊(神前西開発)

絹織物のまちとして発展してきた長浜では、織物の美しさや良さの情報発信の場として、教室を併せ持った活動がなされている。

長浜工芸研究会/ギャラリー八草(神前西開発)

長浜曳山まつりの山車と浜仏壇により育まれてきた貴重な工芸技術を継承し、その伝統的工芸技術から新たな工芸文化を創造しようとする職人集団の情報発信と研究の場としてのギャラリー。

季の雲ゲストハウス

多様な「泊まる・集まる」を楽しめる一軒貸し宿泊施設。レストランや生活道具中心のギャラリーを併設。

三谷旅館

まちなかに異なるタイプの三宿としてゆうき番街商店街内に整備された宿泊施設。長期滞在・団体宿泊可。

まちの駅

四季体感市場(地産地消)として、地元農家の方々を中心とした野菜や果実加工品などを取り扱う。

青い鳥

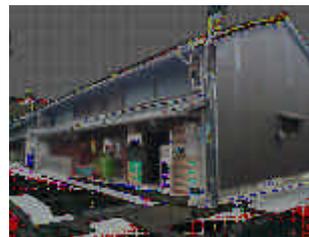
黒壁本館前の伝統的町家を利用して整備された、季節毎の企画で商品構成を考えている店舗。四季折々の「素敵かわいい」をコンセプトにしており、お客様とのコミュニケーションを大切にしている。

黒壁新回廊

中庭の緑を活用して憩いの場を提供。オープンカフェ 黒壁ラッテンベルグ館・黒壁美術館・洋屋が路地回廊で一体となっている。

能舞館

かつて造り酒屋を営んでいた伝統的な町家建築を改修し、整備された「能」の展示場です。「湖北にゆかりのある能」「親しみ、楽しめる能」をコンセプトに運営。



黒壁美術館

伝統的な町家建築を修復再生した美術館で、江戸時代末期の商家には蔵を含め大小15の展示室があります。

ヨーロッパのドイツ語圏とその周辺で作られたガラス作品を中心に210点余りを收藏。

今濱屋

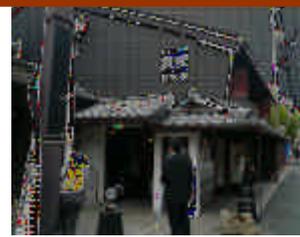
人通りの多い立地の車庫と住宅1階を活用して、食文化の継承を目指した郷土料理店のお店。

武羅坊

伝統的町家改修の飲食店で、長浜の郷土料理「焼き鯖そうめん」など、地元の食材を使った手作り創作和食を提供。

黒壁本館

明治時代に第百三十銀行長浜支店として建築され、その外壁が黒漆喰の様相から『黒壁銀行』『大手の黒壁』の愛称で親しまれていた建物。昭和63年4月、民間企業や市の支援を受けて、第3セクター株式会社を設立。『歴史性』『文化芸術性』『国際性』の3つをコンセプトに事業を展開。



最後に

今回の勉強会の開催地として事前準備含めいろいろな取り組みを実施頂きました方々、(株)黒壁、長浜まちづくり(株)、長浜市及び長浜商工会議所の皆様に御礼を申し上げます。

次回勉強会は未定となっておりますが、詳細が決まり次第、会員の皆様に連絡させていただきます。